

# 茶座「いま・はいま」第15弾

## 「自然からの贈りもの (Gift) ~大地からの発信~」

姫路市市民会館5F 第1教室

	テーマ	講師
第1回 6/11 (火) 19:00 ~	<b>野鳥に魅せられて！</b> ~恐竜の進化から現在の鳥まで~	環境省モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査員 日本野鳥の会会員 <b>三木敏史</b>
第2回 7/ 9 (火) 19:00 ~	<b>川に棲む虫たち</b> ~高校生とともに見つめた水生昆虫の社会~	高等学校講師 <b>久後地平</b>
第3回 9/10 (火) 19:00 ~	<b>植物園における 生物多様性の取り組み</b>	姫路市立 手柄山温室植物園研究員 <b>松本修二</b>
第4回 10/ 8 (火) 19:00 ~	<b>ど素人から始めた山仕事</b> ~人と共存し、安全を守りたい~	山吉・YAMAICHI 代表 <b>長谷川亜佐人</b>
第5回 11/12 (火) 19:00 ~	<b>大絶滅の時代に生きる</b> ~開発等による生物種の激減と それに追い打ちをかける温暖化~	姫路獨協大学非常勤講師 元姫路市立水族館館長 <b>市川憲平</b>

## 茶座「いま・はいま」第15弾

『自然からの贈りもの (Gift) ~大地からの発信~』

6月11日(火)~11月12日(火)

## 『川に棲む虫たち』

~高校生とともに見つめた水生昆虫の社会~

7月9日(火)午後7時~9時 姫路市市民会館5F 第1教室

高等学校講師  
久後地平

川の中には、カゲロウや、カワゲラ、トビケラなど  
沢山の虫けらが棲んでいます。  
限られた生息場所に雑居しているかに見える虫けらは、  
川の藻やゴミを食べて水を浄化し、  
餌となって魚を養っています。  
様々な虫や魚が同居できる自然の川は、  
どんな姿をしているのか。  
高校生とともに川の虫の生き様を  
観察し、記録してきたことを  
お話しします。



## 略歴

- 1958年 京都府綾部市生まれ
- 1984年 京都府立大学農学部林学科卒業
- 2000年 兵庫県立福崎高等学校教諭
- 2009年 福崎高校生物部・平成20年度福崎町文化功績賞受賞
- 2010年 平成21年度兵庫県教育委員会文化部指導者表彰
- 2010年 兵庫県立香寺高等学校教諭
- 2012年 平成23年度文部科学大臣優秀教員表彰
- 2018年 兵庫県立香寺高等学校・平成30年度兵庫県グリーンスクール表彰

## 主な著作物

- 2005年 「ヒゲナガカワトビケラ属2種(トビケラ目・ヒゲナガカワトビケラ科)の同所共存について  
-兵庫県夢前川での調査事例-」。兵庫陸水生物、56・57:23-24。久後地平、西村登・若園美沙子、
- 2009年 「モンカゲロウはなぜ川を遡上するのか?」科学雑誌「NEWTON」掲載
- 2021年 「ため池の自然環境調査と地域連携活動」放送大学「生物の科学遺伝」掲載
- 2021年 「デトリタスに奪われる河川の溶存酸素と生物環境」放送大学「生物の科学遺伝」掲載

主催 姫路地方文化団体連合協議会(ひめじ文連)

〒670-0083 姫路市辻井5丁目5-36 TEL 079-290-5450

ホームページ [bunren.himegimi.jp](http://bunren.himegimi.jp) メール [bunrenhimegimi@yahoo.co.jp](mailto:bunrenhimegimi@yahoo.co.jp)

後援 神戸新聞社 姫路市 公益財団法人姫路市文化国際交流財団

参加費 500円